

令和7年度上期「電力利用効率化見学会」実施報告

7月29日(火)に北九州市八幡西区の2事業所を訪問。賛助会員29社42名に参加いただきました。

【三菱ケミカル株式会社九州事業所（福岡地区）さま】（午前）

同事業所ではポリカーボネート樹脂等の化学製品を生産しています。

同事業所及び製品の概要を説明いただいた後、バスに搭乗し構内を見学、その後会議室に移動し省エネルギー及びカーボンニュートラルに関する取組内容の説明と参加者との質疑応答を行っていただきました。

同事業所では、運用開始後年数が経過した石炭火力発電所を廃止し、電力は全量買電、熱需要はLNGボイラに切り替えることで、CO2排出量を大幅に削減されました。

また、生産する製品の変遷に伴い余剰となった電気・熱設備の統廃合を進めており、受電設備の統合と廃止、蒸気配管における多重系統の単系統化・盲腸配管の撤去等に取り組んでいます。

同事業所では、常日頃より電気・ガス・蒸気等の使用データを自社開発した生産管理システムに登録を行い、自部署のエネルギー使用状況（エネルギー原単位）を的確に把握しながらエネルギー利用効率化に取り組んでいることが伺えました。



〔集合煙突を背景に総合事務所の前にて〕

【株式会社安川電機さま】（午後）

同社では産業用ロボット並びにインバータ等の電気機器を生産しています。

同社及び製品の概要、省エネルギー及びカーボンニュートラルに関する取組内容の説明ならびに参加者との質疑応答の後、「ロボット第一工場」と「みらい館」を見学しました。

同社では、エネルギー消費の大きな割合を占めている空調需要について、高効率機器の導入を推進しつつ、周波数制御により電動機を効率的に運転するインバータの機能と回生電力を回収する機能を併せ持つ自社製品「マトリクスコンバータ」を全面的に導入し、温度・湿度・CO2濃度等のセンサー情報に基づききめ細かな制御を行うことにより、省エネルギーを実現していました。

空調需要は幅広い業種に関係していることから、参加者は興味深く説明を聴くとともに、活発に質問を行っていました。



〔「みらい館」にて〕

【参加者のご感想】

- ・「見学させていただいた各社の、省エネルギーへの取組み意識の高さ、設備の現物、具体的な取組内容等を知ることができ、参考になった。」
- ・「自社に持ち帰ってエネルギー利用効率化に活かしていきたい。」

当協議会では、会員の皆さまの省エネルギー活動の参考にしていただける見学会を実施してまいります。奮ってご参加ください。